

SCP 中間活動報告

「竹野3Cプロジェクト (charm connect challenge)

～魅力につなげてチャレンジする～

アドバイザー：竹川先生

メンバー：下家佳奈 福島沙季 吉野敬悟 郭瑠儀

○これまでの主な活動

- ・ 8月6日(土)に「親子で竹野自然体験ツアー！」の実施
- ・ 竹野南地区で10月30日(日)に開かれる「市場まつり」に向けての活動準備

○「親子で竹野自然体験ツアー！」実施の詳細

- ・ 日時：8月6日(土)
- ・ 場所：竹野南コミュニティセンター
- ・ 参加者：14名(内訳：子供10名、大人4名)

・ 午前：そば打ち体験(そば打ち講師1名)

そば打ち講師の方の指導の下、子供たちを中心にそば打ち体験を行った。力作業など、大人たちのサポートもあり、スタッフを含めて、全員が楽しくそば打ちを体験することができた。

・ 午後：川遊び

深いところが数か所あり、補助が必要な時もあったが、危ないこともなく、無事に終えることができた。子供が終始楽しそうにしていたので良かった。

・ ヒアリング調査(対象：大人4名)

今回、イベント終了後に保護者4名を対象にヒアリング調査を行った。結果(一部抜粋)は以下の通りである。

(設問1) イベントを通しての感想

- ・ そば打ち、川遊びを通して、竹野の食や自然に触れ合うことができて良かった。
- ・ プールなどではなく、川で遊び、自然を体験することができて良かった。

(設問3) 次回イベントをやるとすれば、どのようなことをしたい、してほしいか

- ・ 今回のそば打ちのように、作って食べるイベント。
- ・ 竹や木を使った工作、自然探検、農業体験や山・森のことを知るイベントなど、自然の中で遊ぶイベント。

(設問4) イベントについて、改善してほしいこと

- ・ 参加者同士で、協同で行うミニゲームなどを通して、参加者間の交流を深めること。



(上図) そば打ち体験の様子



(上図) 川遊びの様子

- ・ 子どもが発言する場や全員の自己紹介などの場を確保すること。
- ・ オリエンテーションなどでゲームを行うこと。

○まとめ

少子化が進んでいる竹野地域で、子供たちが地域の魅力である自然に触れながら楽しめるイベントを開催したいという目的で、イベントを開催した。参加者の方から、「普段はできないことを体験でき、楽しかった」という感想や、「自然に触れるだけでなく、参加者同士でもっと交流を深められたらいい」など、貴重な意見もいただくことができた。また、このイベントに協力していただいた、地域マネジャーの鶴原様や、「NEXT GREEN 但馬」の上村様や竹平様からも、安全に楽しくイベントを終えることができよかったという意見をいただき、当初の目的を果たせたことはよかった。一方、反省点として、事前の打ち合わせが不十分であったところがあり、鶴原様からもご指摘をいただいた。打ち合わせが不十分であったために、当日の進行がスムーズとは言えず、参加者や、スタッフに迷惑をかけてしまった。そのため今後は、スタッフとの十分な打ち合わせを行い、参加者をより一層楽しませられるように努めていきたい。このイベントを通じて、打ち合わせの重要さと、人を動かすことの大変さを実感する貴重な体験であった。

○「市場まつり」に向けての活動準備について

10月30日（日）に開催予定の竹野南コミュニティ主催の「市場まつり」にて、竹野南コミュニティが運営される「喫茶よつば」などの活動に加えて、私たち学生も鳥大生のブースとして謎解きや竹野南の特産品である「三原みそ」を使ったスイーツコンテストを行い、子どもたちに地元である竹野南地域についての関心を持ってもらう、また、魅力を知ってもらい、地域愛着を深められるきっかけにしようということで、現在準備を行っている。具体的な準備の内容については、謎解きの作成や、当日のスタッフの動きについての打ち合わせなどである。その中で、地域創造コースの竹川先生の基礎ゼミ生とも連携し、当日1年生には、プロジェクトメンバーとともにスタッフとして活動していくなかで、地域の方との交流を深めてもらいたい。

○今後の活動予定

年内の主な予定は、地域創造コースの基礎ゼミの受講生とも連携し、10月30日に行われる竹野南地区の「市場まつり」での出し物の実施が主な目標である。また、来年の2月に開催を考えている「親子で竹野自然体験ツアー！」（冬版）の具体案を考え、「竹野南コミュニティ」と「NEXT GREEN 但馬」さんと打ち合わせを重ねていくことである。

○現在の予算消化状況

現在、10万円の予算のうち、約35000円を消化しています。

以上